

# 産業建設委員会記録

令和3年5月11日（火）  
09時58分～11時17分  
全 員 協 議 室

【委員】串崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】

【議長団】

【執行部】（産業経済部）永見水産振興課長、松井水産係長、田中専門企画員

（三隅支所）田城三隅支所長、久佐三隅支所産業建設課長

【事務局】近重書記

---

## 議 題

1 産業建設委員会の取組課題について

2 その他

(1) 有限会社ゆうひパーク三隅の清算について（報告）【三隅支所産業建設課】

(2) その他

以上

## 【議事の経過】

〔 09 時 58 分 開議 〕

串崎委員長

ただいまから産業建設委員会を開会する。出席委員は6名で定足数に達している。本日は野藤委員が欠席である。  
ではレジュメに沿って進める。

## 2. その他

## (1) 有限会社ゆうひパーク三隅の清算について（報告）【三隅支所産業建設課】

串崎委員長

議題1の前に三隅支所からの報告を先に受けたい。執行部から説明をお願いする。

三隅支所長

表題の件だが、清算に見込んでいた費用より支払予定額が増えたため資金不足となる見込みになった。支払いを急ぐものもあるため、今後については提出資料のとおり進めたい。追加で課長から説明する。

三隅産業建設課長

( 以下、資料をもとに説明 )

串崎委員長

今の説明に対して委員から質疑はあるか。

川上委員

複合機のクレジットと電話機リースについて残った月は幾らか。

三隅産業建設課長

複合機が令和元年6月契約のため残り約5年、電話機リースが令和元年11月に更新しているため約5年半残っている。

川上委員

つまり残りの5年と5年半を全て払い、なおかつ違約金が発生する。違約金はそれぞれ幾らか。

三隅産業建設課長

違約金部分はなく、この部分の買い取りのような価格で支払ったものと、それに相当する利息分の支払いのみである。違約金部分はとりあえず出ていない形となっている。

川上委員

違約金はなかったと理解してよいか。

三隅産業建設課長

はい。

川上委員

160万円と77万円は、残り月数の月額利用料のトータルということか。

三隅産業建設課長

残りの月額のもの、それから利息部分が若干下がっているので残り月額丸々ではないが、ほぼそれに相当する。

川上委員

次の指定管理者は、これらの月額使用料2、3万円がかかるのは困るとの回答だったのか。

三隅産業建設課長

電話機部分は親機と子機2台に加えて録音装置と無停電装置ということで、しっかりした装備だった。新しい指定管理者は通常の家電話機で十分とのことと不要とのことだった。

川上委員

電話機のことにはわかった。複合機はどのようなものか。

三隅産業建設課長

コピーとファックスができる事務用のしっかりしたものであったので、これも家庭用のファックスとコピー機で十分とのこととそれのものは要らないということであった。

布施委員

清算のことはわかった。ここに至るまでに資金繰りがいろ

いろと清算しなければショートした部分があって、検討されたと思っている。今になってショートするという報告があったが川上委員が言ったように新しい指定管理者はそこまで要らないと指摘されて今走り出している。こういう複合機や電話機のリースは即金ではなくほとんどリースと思うが、何年か前に検討するときに今回の事態になって議会に報告されたのが昨年。その時にそういったことを想定しながらショートする部分がある程度予測できたのではと私は思っている。この過程を見るに指定管理者であるがこういった機器について市は相手の言うままに購入して市としてチェックはしないのか。

三隅産業建設課長

引き継ぐに当たっての資金ショートに至るまでだが、12月に報告し3月の補正予算で500万円をつけていただく中で、清算を同時に行っていた。新しい指定管理者が決まって以降、こういった話もしていたのだがなかなか正式回答が得られず、3月になってこちらの500万円が出た後に清算をかける中で引き継ぐのは困難であると正式に回答をいただいたのが3月末や4月頭だった。この部分について正式に答えをいただいた。そのため12月の段階では、まだこういった費用、先ほど説明したように比較的新しくしっかりした機器なので引き継いでもらいたい思いで清算の中身を考えていた。その部分が新しい指定管理者がそこまでは不要という判断をされたのが3月以降で今回資金不足になってしまった。

機器購入時の経緯の詳細を私は把握していないが、全く相談がなかったわけではないのだろうが、市が直接購入機器を指導することもなかったようなので、確かに単純に見ると電話機も無停電装置まで必要なのか、確かに過剰な部分はあったように思う。平成30年は経営改善にも取り組んでおられた時期なので、今後経営を改善する中での取り組みとしてこういった機器更新をされたものと理解している。

布施委員

こういった基本的な部分があれば、コロナ禍で皆売り上げが減少しているため、前年比同売り上げが精いっぱいだろう。経費削減には最終的に人的整理をして。代替として単価が低いものを、ここまでが必要なのかということ、指定管理を出す浜田市側としても相手が行う部分で必要だという確固たるものがあればそれはそれでよいと思うが、今聞くとやはりそこまで必要なのかという思いも私はしている。視点があり、取引の部分で必ずこの部分が要るとか、ポスレジで複合的に全部売り上げが複合機によって瞬時に出るのか、そういう必要不可欠なものであればよいが、少し高額だと思った。これを糧にして指定管理者、市全体に言えることだが経営的に相談があれば機器についても市がしっかり精査するべきである。

- 三隅産業建設課長      そこまで踏み込んだ指導や、経営改善の中で相談をするべきだと思う。
- 三隅産業建設課長      おっしゃるとおりである。今回の新しい指定管理者も経費削減のためにこれほどの機械は要らないと判断された。市として指導できる範囲はしっかりやっていかねばと考える。
- 笹田委員      令和2年3月の補正で、地域振興基金から500万円を出したはずであるが、今回の不足分の対応、工事請負費は地域振興基金ではなかったか。
- 三隅産業建設課長      前回の500万円については地域振興基金で対応している。今回のものは令和3年度の当初予算で組んでいるため、一般財源を使わせてもらっている。
- 笹田委員      そうなると意味合いが変わってくるのでは。当時も500万円三セク施設なので市が請け負うことは仕方ないと質疑もあまりなかったのだがその部分も疑問があったのは事実。なぜ市だけが500万円を負担せねばならないのか、当時から疑問があったのは事実である。今回また不足分が出るとなると、また市が一般会計を用いてでも清算に加わるというのは違和感がある。三隅はどのようにお考えか。
- 三隅産業建設課長      三隅の地域振興基金については令和2年度でなくなっているため、令和3年度予算で基金対応するのはなかなか難しい状況である。令和2年度までと状況が異なっているというところで今回この予算を使わせてもらい、何とか清算だけはかけてしまわないと債権者に迷惑がかかるし、旧法人の清算が完結しない。延びればその分利息もつくため、早目に清算したいためこのような形を取った。
- 笹田委員      180万円と不足分140万円の金額が似通っているので流用するとのことだが、もともと我々が認めた予算は、ここに取り替え工事経費として認めている予算を執行停止してこちらに流用するというのもおかしい。なぜこの予算を計上したかというところでは困っているから180万円使わせてくれということで予算計上したと思う。それを何も言わずにこちらが大切だから執行停止して計画を見直して次の事業でやりますというのは道筋が違うのでは。
- 三隅産業建設課長      言われるとおりだと思う。当初この予算ではなく予備費を活用することも含めて財政課と協議している。年度当初ということもあり、予備費を使うのはどうかということ。今回は浄化槽ポンプの取り替え工事をやっているが、これは応急対応でしかない。今後のゆうひパーク三隅の運営を考えれば、浄化槽位置そのものを見直して浄化槽そのものをどこかの時点で改修しなければならないなら、それを早目にやったほうがよいということで今回の180万円をそもそも停止する。そのことはそのこととしてきちんと対応したい。その中

笹田委員

で今回の不足も生じたのでその予算を使いたいということでお願いをしている。

それはわかる。説明があったので。それはわかるが最初からその予算を計上すればよいではないかという話ではないか。もともと老朽化が進んでいるのであれば。更新計画をしっかりと、今後ゆうひパーク三隅をしっかりとやっていくのだと。

今の話だと、こちらが足りないからここは後回しにしてそのお金を充てれば不足分が対応できるから予備費を使わなくて済むという話にしか聞こえない。ルールにのっとって行っていることなので清算に向かって走っているところであるが清算はいつを見込んでいるのか。有限会社ゆうひパーク三隅の解散・清算はいつ完結する見込みなのか。

三隅産業建設課長

この5月、6月には清算を終えたい。支払いの一部も今月中の支払いが何件かあるので対応し、そのほかについても6月末までにはおおむね終えて、7月には議会に最終報告をしたい。

道下委員

今後の収入見込みで複合機の70万円が提示されているが、そもそも残りの解約料160万円とのこと。大体幾らくらいのものを購入したのか。この70万円は解せない。もっと膨らんでもよいのでは。下取りというか。どこから70万円という数字が出たのか。

三隅産業建設課長

70万円については、複合機のクレジットを組んだ際に平成30年の更新時、前の機器の残クレジット部分があった。その残クレジット部分が99万円含まれている。この160万円の中に。それを除いた、残り5年数か月のクレジット部分を計算し、それを第三者に売り渡す形で入る金額を70万円と見込んでいる。

串崎委員長

ほかにあるか。

( 「なし」という声あり )

ないようなので質疑を終わり、この問題については6月4日の全員協議会で説明いただくかどうか。

川上委員

ぜひ全員協議会で全議員に報告いただきたい。

串崎委員長

報告ということでよろしいか。

( 「はい」という声あり )

では6月4日の全員協議会で報告いただくようお願いする。

## (2) その他

串崎委員長

副委員長から申し出があるのでお願いする。

飛野副委員長

1点提案させていただく。三隅火電2号機の現場視察についてである。現在、来年11月運転開始を目指して順調に工事が進んでいる。建物の輪郭もできて発電機も入っているようである。このタイミングで、ぜひ現場の進捗をつかみたいということで提案する。

浜田市にとって大切な施設である。ぜひ産業建設委員会で

串崎委員長

も確認をしたいと提案する。協議いただきたい。

副委員長から三隅の火力発電機2号機の視察について提案があった。どうだろうか。よいか。

( 「はい」という声あり )

では視察させていただく。日程について三隅産業建設課長に相談したところ、5月26日に産業建設委員会が開催されるのだが15時ころの都合がよいと聞いている。できれば1日で全て終わらせたい。そうすると産業建設委員会を14時30分までに終わらないと間に合わない。それができなければ新たに日程を設定する形になるかと思うが、皆はどう思われるか。

三隅産業建設課長

事前に飛野副委員長からご提案いただき、中電側は受け入れが可能かを確認させていただいたところ、委員が集まる26日ならどうかということまで了解をいただいたので、この日が無理ということなら別日を二つほど挙げていただき、改めて調整となるかと思う。

布施委員

大体の予定として、現地視察を約30分弱、事務所での説明を30分弱、合わせて1時間弱が主な内容になるかと思う。

そういうことであれば副委員長の提案でもあるし、大事だという思いがあると思う。別日の設定でも私は構わない。

川上委員

当日の議題が不確定なので別日に設定したほうが、よりよいのでは。

笹田委員

相手のあることなのでお任せしたい。

三隅産業建設課長

中電に話をしたところ、十数名の受け入れになるため日程は早目に教えてほしいとのことだったので、日程調整はあらかじめ決めさせていただきたい。よろしく願います。

串崎委員長

26日の委員会の議題が確定するのはいつか。

近重書記

17日の週になるかと思う。委員会の前週くらいに、どういった報告事項が上がるか。

布施委員

委員長に配慮していただきたいのが、特別委員会の予定が入っている部分がある。土地開発公社の理事会もある。日程調整は委員長にお任せする。一番優先すべきは受けていただく中電側の日程であり、そこに合わせなければいけないのだが、その辺も願います。

串崎委員長

書記からは大体17日ころに提出議案がわかるとのことだった。

近重書記

26日の委員会は議案審査はなく、執行部報告事項になる。新年度に入って初回なので、例年どおり冒頭に新任管理職の挨拶がある。

串崎委員長

17日にわかれば26日に取れるかもしれない。もう1日ほど皆の都合がつく日を決めておきたい。28日はどうか。

三隅産業建設課長

中電は皆が来られる際に一部作業をとめると聞いている。その日の状況によって午前がよかったり午後がよかったりす

串崎委員長

るだろう。26日の15時からというのも恐らく休憩時間を充てるのだと思う。それで中電に打診させていただいてよいか。

課長が言われるように26日15時、28日15時ということで、とりあえずこの場では決めさせていただいてよろしいか。

( 「はい」という声あり )

串崎委員長

以上でこの議題については終わりたい。三隅支所の支所長と課長にお礼申し上げます。

## 1. 産業建設委員会の取組課題について

串崎委員長

4月14日の産業建設委員会で浜田漁港周辺エリア活性化に向けた取り組みについて、皆から意見があると聞いているので執行部に集まっていたいただいての意見交換とさせていただきたい。

資料は事前に送信しているが執行部から補足があれば願います。

水産振興課長

前回の産業建設委員会で同じような資料を提出したが、委員が求めた内容よりかなり薄かったためご迷惑をおかけしたことをお詫びする。

今回ワーキンググループやプロジェクトチームから出た意見も踏まえ、現在の状況についてまとめた資料を用意した。ご意見があれば願います。

串崎委員長  
布施委員

では委員から意見を伺いたい。

水産浜田の基幹産業が今まであった部分が休止となり、新たなイメージで公設仲買市場が先行オープンして、お魚市場と一緒にランドオープンできなかった。浜田市民は期待しているし、まだ宣伝不足を感じる。産業建設委員会として浜田港周辺エリア活性とにぎわい創出は当委員会の使命だと思っている。一部オープン後の状況も聞きたい。

配付された資料によると、ワーキンググループとプロジェクトチームからはいろいろな意見が出ているが、発想は予想の範疇である。今までとあまり変わらない。外部団体の意見はあるが実施できるものとそうでないものすみ分けはしっかりするべきである。

いろいろなアイデアを単独ではなく連携実施することが見えてない。プロジェクトチームでも横断的な考えをすることによっていろいろな課から出ている。アイデアは出してもらっているがどのようにつながっていくかがあまり見えない。アイデアは出すが、やるのは第一ビルサービスであり魚商組合だという投げかけしか見えない。担当課としてはどのようなストーリーに持っていくつもりか。アイデアを募って一つずつできるできない、時期が来たらこれはできるできない、というやり方なのか。最終形を決めて、そのために必要な事

水産振興課長

項をまとめてといったストーリーが見えない。

当初は3月21日のグランドオープンに向けてもう少しアイデアを出してもらい、各団体の横断的な取り組みによってスタートを切ろうと考えていたが、一部オープンとなった。また、一部オープン以降に検討会議がストップしている状況で、まだ単発でのアイデア出しにとどまっている。

グランドオープンの日程も5月26日の産業建設委員会で何とかお示しできるよう調整を進めている。今後の横断的な取り組みとしてどういったことをするかという段階に至っていない。グランドオープンの開所式、イベントも予定している。第一ビルサービスも大きなイベントを最低でも年4回やり、その間に月1、2度の定期的な取り組みも考えている。イベント、定期的な取り組みにどういった形でこのアイデアを横断的に取り組むかについてはこれからこのワーキンググループ、プロジェクトチームで話をする。

各関係団体のワーキンググループも5月21日に今年度第1回目を開催し、具体的にどういったことをするかといったアイデアを出していただき、それが横断的に取り組むべきことがあれば連携して取り組みたいと考えている。

布施委員

今後のことはよくわかったが、もうスタートしているのだから早目にやるべきだと思う。第1回目が5月末とのことだが早くすべきである。第一ビルサービスが商業棟のオープンに慎重であり、しかしやりたいという気持ちはよくわかる。

このゴールデンウィーク中、コロナ禍で山陰両県知事は山陰の往来はオーケーで緊急事態宣言地域からのお越しは控えてほしいとのメッセージを發して山陰キャンペーンをやっており、私はそれを利用して鳥取県へ行ってみた。昔のにぎわいはないものの、水木しげるロード、境港のお魚市場、大山、鳥取砂丘、温泉、人も多かった。グランドオープンではないが三密まではいかないが、密の状況はあった。行動を見ると2週間が経過するが、商業棟でコロナが発生したとか、クラスターが発生したとの報告はない。浜田市が慎重になるのはわかるが、機を逃すと力が半減する。みなさんが言っていることをご存じか、課長。せっかくオープンしているのだから早く商業棟もオープンすべき。それが広島からのお客さんが多いから来られても困るという考えであると機を逃してイメージアップを図るためにお魚市場がリニューアルオープンしたイメージが半減以下になっているとすごく言われる。慎重になるのはよいが、やり方を変えればオープンできる方法が絶対にある。それを早くやるべき。ワーキンググループとプロジェクトチームの取りかかりが遅いと発言したが、早く実施できる部分とできない部分を精査し、横断的にやれるところ



- やっているがお魚センターがあった時代はお客も رفتり来たりして相乗効果があった、お魚センターがなかったころは客足も減ったという話もあった。周辺エリアとなれば、近くのやなぎ水産、中央水産と何かしら連携して取り組む必要があると思っている。実際に土江本店社長ややなぎ水産は連携して盛り上げていこうと言われている。年間通じて周辺に今ある販売施設で何とか盛り上げていくことは考えたい。
- ただ、商工会議所青年部やJAなどとの具体的な話は進んでないが、JAとはトラック市などの話もあるので、ぜひやなぎ役になっていただきたいし、担当課の農林振興課とも連携を密にして進めていきたい。
- 川上委員 周辺事業者との連携を考えているなら、どんどん進めたらどうか。コロナ禍において遠くから人を呼ぶのは難しい。まず近場の人のために何かを考えるなら、先ほどの方々の集まりの場を設ける案を模索するのも一つの手だと思うが。
- 水産振興課長 それはぜひしたい。今後どういうことができるか話を関係者と進めたい。
- 川上委員 いつごろまでにやるか。グランドオープンも迫っているのだから。それが聞きたい。
- 水産振興課長 グランドオープンを控える中で第一ビルサービスがイベントや各月の取り組みも考えておられるので、まずはそれとの連携で何ができるか、情報提供をしながらグランドオープンまでに、なるべく早く、山陰浜田港公設市場の計画があらかた固まれば情報提供しつつ進めたい。
- 川上委員 私が求めているのは、6月中には必ず、皆の意見を聞きながら動くとか。そうすればグランドオープンまでにはある程度準備ができる。情報提供くらいのことなら誰でもできる。まとめをやっていただきたいのだが。
- 水産振興課長 グランドオープンに向けて検討するには早い時期から話はしなければならぬ。情報提供を含めて、どういうことが一緒にできるか決めていきたい。何とか6月中に話をまとめて報告できるようにしたい。
- 川上委員 せっかくなので6月中に方策を取って、先へ進めることを考えていただきたい。よろしく願います。
- 笹田委員 市の報告には必ずよいことばかり書いてあり、実際動かないこと、絵に描いた餅も多分に見てきている。水産は我々も一緒になっているいろいろなやっている部分もあるので聞くのだが、市はあそこをどのようにしたいかが見えない。この人にお任せして、ここには何ができるので協力していただくという感じしかない。市としてあの地域をどうしていくのか聞こえない。だから動かないのでは。あそこがよいことを言っているが、どうやって実現していくかが見えない。はまだお魚市場

水産振興課長

が一部オープンして幾らか経過した。プロ野球の中継を見ているマツダスタジアムに映ったのを見た。市としてあの施設をどのようにしていくか、メッセージも含めて何も感じない。こういう組織がつくっている、こういうことを考えている団体がある、としか見てない。市ではこういう考えがあるから、こういうことがしたいから協力するのだとか、市ではやれないからこの人に協力をお願いするのだとか、そういう形ならわかるのだが。これで6月に本当にできるか、僕はできないと思う。市はどのようにお考えか。

市がどうしていきたいかは、浜田漁港周辺エリア活性化計画の中で三本柱「観光及び地域活性化の推進」というのを掲げている。まずは新しく整備した山陰浜田港公設市場の活性化。市民に親しまれ観光客にも訪れていただく施設というのを基本方針とし、公設市場を核にして浜田漁港周辺エリア活性化を図っていきたい。販売拠点施設でもあるので水産物消費拡大と認知度向上。交流人口拡大。これが山陰浜田港公設市場の目指す姿である。山陰浜田港公設市場を核にして、あとは周辺エリアとどう結びつけていくかだが、今考えているのは、ワーキンググループに入っている海に関連する渚の交番beやツーリズム協議会といった施設とどのような面的連携ができるか。ほかにもアクアスや温泉施設などの観光資源とどう連携できるか。みなとオアシスということで中核施設ということで旧しまねお魚センターとなっていたがこれもすでに届をして、山陰浜田港公設市場がその役割を担うよう申請も終わっている。そういったことでみなとオアシスを活用した地域振興を図る。

それから山陰浜田港公設市場そのもののイベント、それから周辺関係団体との連携イベントなどをして、浜田漁港のにぎわいづくりにつなげていきたい。これが基本的な方針であり、どう肉づけしていくかはワーキンググループやプロジェクトチームで意見をいただき、連携しながら進めていきたい。

具体的な施策まで達してないが取り組み方針については、ワーキンググループやプロジェクトチームの第1回目に活性化計画で市が目指す方針を説明し、ご意見をいただいている。

笹田委員

いただけてないではないか。12月22日からやってないのだから。資料に書いてあることはわかるのだが、では具体的にどうやっていくのかが見えないから聞いている。

他の委員からもあったがコロナ禍の中、市民にどう喜んでもらうかの施策があれば、市民に来てもらう施策はこのように考えているので、まずこういった業者に協力してもらって走り出してみるとか。そういうことがわかればまだ期待できるのだが。ワーキンググループも10月29日と12月22日に開催

して、予算も出ない。忙しい中で人もなかなか集まらない。決め打ちでもよい。市が持っている方針のとおりやりたいなら。国府のツーリズム協議会に決め打ちで行ってお願いするとか、JAしまねいわみ中央地区本部に決め打ちでお願いするとか。そういうことがわかればよいが、まさにこれも絵に描いた餅。これは実際理想論である。

公設市場も走り出して最初の客が来て喜んでおられたが、普通に戻ってきた。何も変化がないと聞いている。逆に施設として使いにくくなったという話も聞く。浜田市の水産の核とするなら動いていかないと。ワーキンググループにお願いするんだ。今から招集します。何月になると開催まで1か月後。お金も発生しない。何もない状況でメンバーも欠席することが考えられる。もう少し市が音頭を取って見据えてやらないといつまでも変わらない。活性化計画もできて個人一般質問もしたが。それに準じて取り組むというのも当たり前の話であるがコロナの影響の中で思いどおりに動けないところがあるが、市民に喜ばれるという大前提があるなら、そこにまず重きを置いて市としてしっかりビジョンを持ち、それに取り組むべきだと言っている。

「浜田漁港の将来を明るくする、あるべき姿」、よいことが書いてある。ではそのために具体的に何をするのかという話。会議をしても、いつまでたってもずっと同じ。個人的にやってほしいのは、市民をいかに集めるかからまずは考えていただき、そこに重きを置いて市が主導し、協力してくれるところを決め打ちでしっかり協力していただき、支援するところは支援して、やっていただくところはやっていただいて、市民の集客に努めるということをやっていただきたいと、ずっと強く思っている。

そういう雰囲気もなく、市民が行っているわけでもなく。そのあたりが市の甘い考えだと思うし、具体的に考えていけないところだと思う。

水産振興課長

今は検討がストップし、アイデアを出してもらっている状態である。今年度1回目は5月21日だが、そのときには意見を出されて、全部ができるわけではないので市民に来ていただける施策にはどういったことがあるのか、市で精査して提案しながら、5月21日以降のワーキンググループやプロジェクトチームで議論を深めていきたい。

笹田委員  
水産振興課長

プロジェクトチームの会議は1回あったのか。

昨日あった。内容は「グランドオープンに向けてのにぎわい」で、具体的には、商工労働課が行っているBUY浜田昼市をグランドオープンまでに何とかできないかということで、話を進めている。

道下委員

現状でお魚市場が昼あたりで閉店する店が多い。お客さんにしてみれば365日24時間が基本である。そのあたりの呼びかけや策略が足りない。少しでもよいから。例えば昼までのところを13時まで引っ張るようお願いするとか。何かほしい。

安い、新鮮、うまいのは大前提で、もう一つは時間。ゴールデンウィークでも営業している店舗があってありがたいと思うし、従業員を抱えているなどの状況もあれば非常に難しい面もあるだろうし。開店時間の協力をしてくれたお店に対する補填をやっているのか。お任せなのか。そういったことをやらないと上向かないのでは思っている。ほぼ毎日通っているが、その辺がほしいと思うところだ。

水産振興課長

営業時間の問題については仲買との定期会議を3月から月1回行うこととしており、今2回やっている。営業時間の統一についてもお願いはしているが、率直な意見とすれば難しいという意見もありつつ、現在3店舗程度は営業時間を延長して、なおかつ休みの日も営業しておられる。時間を延ばすとなると今までが昼くらいまでで人を雇っておられたのが、3時までとなると人件費がかかってくるとは聞いている。

ただ、今までにない小売りが入ったことで前の仲買売場よりも売り上げは上がってきていることもある。来られたお客については積極的に小売りもやってもらっている。市も第一ビルサービスと一緒にお客に来てもらうPRをやり、小売りも上げてもらい、商業棟もできれば一体になって人の流れもお魚市場、商業棟、フードコートへ行ったりという流れができと思うので仲買さんに設けてもらって営業時間を少しづつ延ばしていけるようなお願いを引き続きしていきたい。

道下委員

第一ビルサービスと中身を詰めて、30分でも1時間でも、ゴールデンウィークでも1店舗でも多く開けてもらうように何か特典をつけてあげるなど、何か方法があるのでは。改めてお願いします。

布施委員

これから一日一日が勝負であると思う、各委員からの意見を十分に理解いただき、やらなければならないことをしっかりと。全体的に活性化、にぎわいの創出をしなければならないが、今日は何をすべきで、今週は何をするべきか、今月は何か、目標を持ってやらないとすぐグランドオープンを迎える。

道下委員は365日24時間やればよいと言ったが、産直は時間内でいかに人を集めるか。そのために新鮮さとそこでしかないものをPRするタイムセールのようなものである。今、仲買棟は3時まで。境港もあれだけ人が来ていても4時で打ち切る。人が来るから夕方までと思うが。現地で聞いたことがある。やはり量が限られている。潤沢にあるわけではない。新

鮮なものを食べさせようと思えば100人来ることを想定して用意するのではなく、揚げられた量しか提供できない。人は新鮮さを求めてその時間帯に行く。そういう考え方を仲買の人に言って、時間内で売り上げアップを図る。商業棟ができればタイアップして相乗効果でやっていく。そういう考え方は皆のほうプロだと思うのだが。現場のやり方はプロでないとしても。そういうことを指導してあげる。

全国に視察に行つて得たこと、よいところを取り上げる、実現する。商売に失敗は付きものである。100%目指してできるものではない。やってみることが大事なのにやりもしないことを書いても全然だめ。実施して失敗して得るものがあるからまたやる。市民に対してコロナだからよそから人が来ない。なら市民にできることをPRすることはいっぱいあったはずである。これまでの期間。それもしてない。だから皆がオープンしたけどまた前のようにになってしまうのではという不安を持っている。オープンして2か月たつがそういう声を聞かないか。苦言を呈するようであるが。私は聞く。浜田弁がよいのかわからない。値段の表示がしているところとしていないところもある。いろいろな批評を聞く。それが風評被害として出てくれば、またものお魚センターのような状態になる可能性は十分ある。そうならないためにワーキンググループやプロジェクトチームをつくり、実現可能なものをどんどんやってくれと。

当委員会の委員長は2月の中間報告にて、委員会としての提案を報告した。それを真摯に受けとめて。我々も市民から負託を受けた議員として責任がある。課長も浜田港周辺エリア振興の担当課である以上は責任がある。本当にやっていただきたい。

水産振興課長

以前のしまねお魚センターと違い鮮魚店が並んだことで、新鮮な魚が提供できることが売りだと思っている。いかに新鮮な状態で提供できる時間帯にするのかということも意識しながら。失敗してもやってみることも生かして、スピード感を持って。まずは市としてどういったことがやりたいのかを提案しつつ、ワーキンググループにご意見をいただきながらやっていくことが大事なと思う。

串崎委員長

ほかにないか。

( 「なし」という声あり )

執行部は退席されても結構である。

《 執行部退席 》

4月14日の当委員会で、6月ごろに提言を行うと皆と話したとおりである。今の意見交換を踏まえながら、今度5月26日に委員会がある。5月20日ごろまでに私が書いた提言書の草稿に

訂正や加筆をしてもらったものを提出いただきたい。読んでいただいてこれでよいと言われるならこの形になる。5月26日には皆に正式に示せればと思う。それでよいか。

( 「はい」という声あり )

ほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

これで産業建設委員会を終了する。

[ 11 時 17分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 串崎 利行